



荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案

～「住んでよし、訪れてよし」のためのプラン集～【概要版】

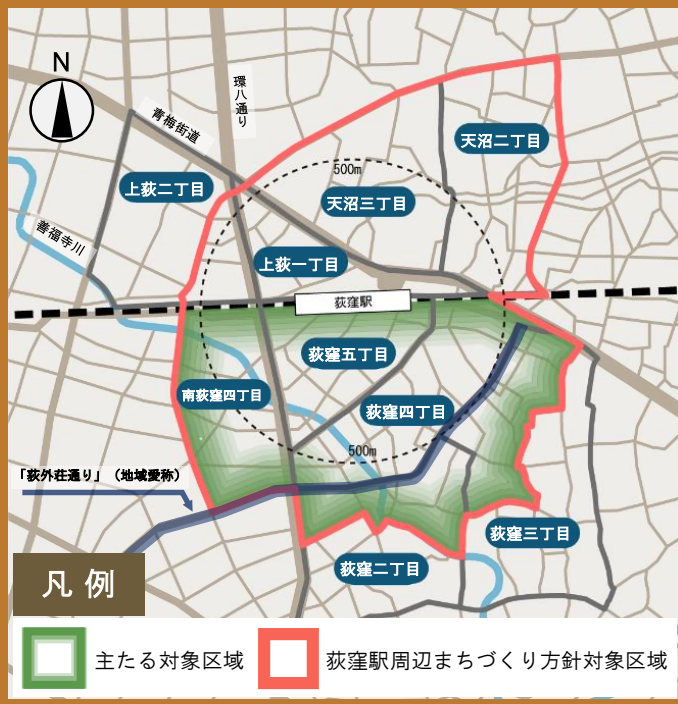
背景と目的

荻窪には数多くの地域資源が集積しており、国指定史跡「荻外荘(てきがいう)」(近衛文麿旧宅)(平成28年3月指定)を活用した史跡公園「(仮称)荻外荘公園」の公開(令和6年予定)は、現在でも増加傾向の見られる来街者をさらに惹きつけることでしょう。

しかしながら、地域住民からは「訪れる方が増えることに対する不安」、訪れる方からは「地域資源の場所がわかりづらい」といったご意見が寄せられています。

このまちの現状への対応を、(仮称)荻外荘公園の公開を控えた今、荻窪のまちにお住まいの方、行政、事業者が一緒になって考え、取り組みたいという思いから検討が始まりました。

農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ち等、荻窪のまちの魅力を様々な方に知ってもらうことでその価値を更に向上させ、荻窪にお住まいの方からはますます愛される存在とすること、まちを訪れる方からは「また訪れてみたい」と思っただけのようにすること、すなわち、



「荻窪駅周辺まちづくり方針」(平成29年4月)で掲げた「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現のため、このまちを舞台としてさまざまな形で活動する人が楽しく取り組めるプランを提案・共有すること

を目的として策定します。

位置づけ

荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案は、「杉並区基本構想(10年ビジョン)(平成24年)」、「杉並区まちづくり基本方針(平成25年)」を上位計画とし、「荻窪駅周辺まちづくり方針」の回遊性の向上に関するまちづくりの取組を定めるものとします。

また、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを目指す「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略(平成31年)」や、荻外荘の復原・整備に関連する施策との連携を図っていきます。

対象区域

右上図に示す通りです。

叶えたい具体的なまちのイメージ

その1

まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる良好な住環境を守り育てるまち

その2

地域住民ひとりひとりが、また、地元団体、行政、事業者などが連携協力して、来街者を気持ちよくお迎えするまち

その3

貴重な歴史的・文化的資源を生かし、観て、学び、楽しむ場づくりに努めるまち

その4

歴史の面影を感じさせるみどり、まちなみを生かし、歩いて楽しいまち歩きの仕掛けづくりに努め、来街者に「住んでみたい」と感じさせるまち

15の提案プラン

叶えたい具体的なまちのイメージ【その1】

まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住みたい」と感じさせる
良好な住環境を守り育てるまち

毎日「荻窪の記憶」※ プラン

- まちなかの何気ない場所で、まちの歴史について気軽に触れられる機会をつくり、新たな発見を楽しめるようにします。

※「荻窪の記憶」は、荻窪地域区民センター協議会が開催した、荻窪のまちの成り立ちに関する市民講座及びイベントの名称です。

実施主体



それは知らなかった！ プラン

- 主に地域住民の方々を対象に、実際に活動されている地元ガイドの方々が、「それは知らなかった！」という新鮮な驚きを引き出すようなまち案内をします。

<既に実施されている取組です。>

実施主体



ありがとう荻窪のみどり プラン

- 潤いのある景観を届けてくれているまちのみどりの維持管理の一部を体験できる機会をつくり、みどり豊かな荻窪のすばらしさを共有します。

実施主体



こんな活動してます プラン

- 地域で活動されているいくつかの団体間で、お互いの活動内容を共有できる機会をつくり、より楽しい活動や、新たな“化学反応”につなげます。

実施主体



叶えたい具体的なまちのイメージ【その2】

地域住民ひとりひとりが、また、地元団体、行政、事業者などが連携協力して、
来街者を気持ちよくお迎えするまち

荻窪的デザインでいこう プラン

- 本書に位置づく様々な提案プランを、荻窪にふさわしい素敵なデザインのもと進めるため、専門家の意見も聞きながら、デザインコンセプトを確立します。

実施主体



ご近所おもてなし プラン

- 今後更なる来街者の増加が見込まれる（仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園（以下、3つの庭園を「三庭園」という。）のご近所の皆さまに対して、日頃のお礼と末永いお付き合いのお願いの気持ちを込めて、特別見学やイベントの先行ご招待などを行います。

<既に実施されている取組です。>

実施主体



まちをみどりで演出 プラン

- まち歩きの主軸となる「荻外荘通り」（地域愛称）などをはじめとして、まちの沿道のみどりを有志の方々により少しずつ増やしていきます。

実施主体



貴重な歴史的・文化的資源を生かし、観て、学び、楽しむ場づくりに努めるまち

荻窪道しるべ プラン

- 路面等も活用し、スムーズなまち歩きをサポートする案内サインを設置します。
- ICTを活用し、まちの歴史に関するエピソードを楽しめるような工夫も行います。

実施主体



歴史的・文化的資源のはしごはかが プラン

- 三庭園を始めとする各施設間の情報共有により、より質の高いサービスを提供します。また、各施設合同イベント等の開催により、「1度で何度も楽しいまちの学び方」も提案します。＜一部既に実施されている取組です。＞

実施主体



これでわたしも荻窪通 プラン

- 主に来街者の方を対象に、実際に活動されている地元のボランティアガイドの方々が、荻窪の歴史・文化についてきめ細かい案内をします。＜既に実施されている取組です。＞

実施主体



気配り思いやりまち歩き プラン

- 訪れる方に、歴史的・文化的資源とともに“今そこにある暮らし”にも魅力を感じ、それを守り尊重してもらえよう、“住宅地としての荻窪”を効果的にアピールします。
- 住宅地への気配り・思いやりのあるまち歩きのマナー等を呼び掛けます。

実施主体



歴史の面影を感じさせるみどり、まちなみを生かし、歩いて楽しいまち歩きの仕掛けづくりに努め、来街者に「住んでみたい」と感じさせるまち

OHO（オープンハウスオギクボ、Open House Ogikubo） プラン

- Open House London などをお手本に、地域の方々の協力を得ながら、まちの趣ある建物やお庭を見学できるようなイベントの実施に向け、各種調整を行います。

実施主体



とっておきのイラストマップ プラン

- デザインコンセプトに基づき、まち歩きで使った後も、そっと自宅の引き出しにしまっておきたくなるような、素敵なイラストマップを作ります。

実施主体



イマドキノツタエカタ プラン

- 商店街も含めた地域資源の情報や、「住宅地への気配り・思いやりのあるまち歩きのあり方」を意識していただけるようなメッセージなどを、目的にあった媒体や言語（表現）で発信します。
- 自宅の一室などを“一日ギャラリー”のように開放して、地域の方々が自らの文化活動・創作活動を道行く人に気軽に発表し、そこで交流が生まれるような場づくりに努めます。

実施主体



どうぞご自由にお掛けください プラン

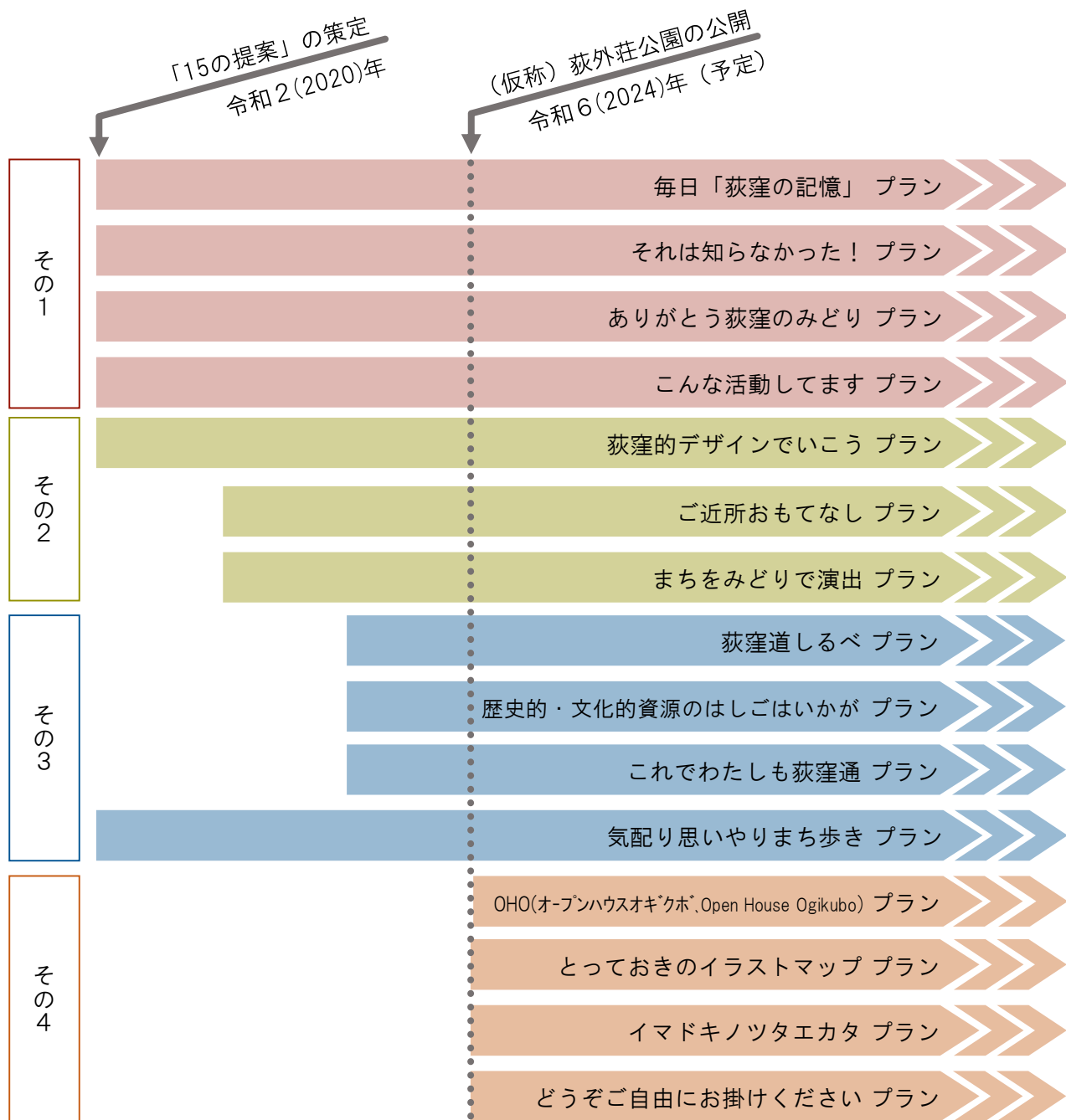
- 一般のお宅の車庫脇や商店街の店先など、ちょっとしたスペースに腰掛けられるものを置いてもらい、まち歩きはもちろん、地域の方の買い物途中の休憩にも役立てられるお休みどころを広げます。

実施主体



各提案プランの実施ステップ

本書は、その1からその4まで、概ね順を追って提案プランを進めていくことで、まちの魅力を守りつつ、来街者をお迎えする準備も着実に整え、「住んでよし 訪れてよしのまち」に向かう組み立てとなっています。以下の図は、各提案プランの大まかな実施ステップをイメージしていただけるよう整理したものです。まずは、（仮称）荻外荘公園の公開（令和6年予定）に向けてスタートします。



荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案
～「住んでよし、訪れてよし」のためのプラン集～
【概要版】

令和2(2020)年3月 杉並区

事務局 杉並区都市整備部市街地整備課荻窪まちづくり担当
〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南1-15-1
電話03-3312-2111(代表)